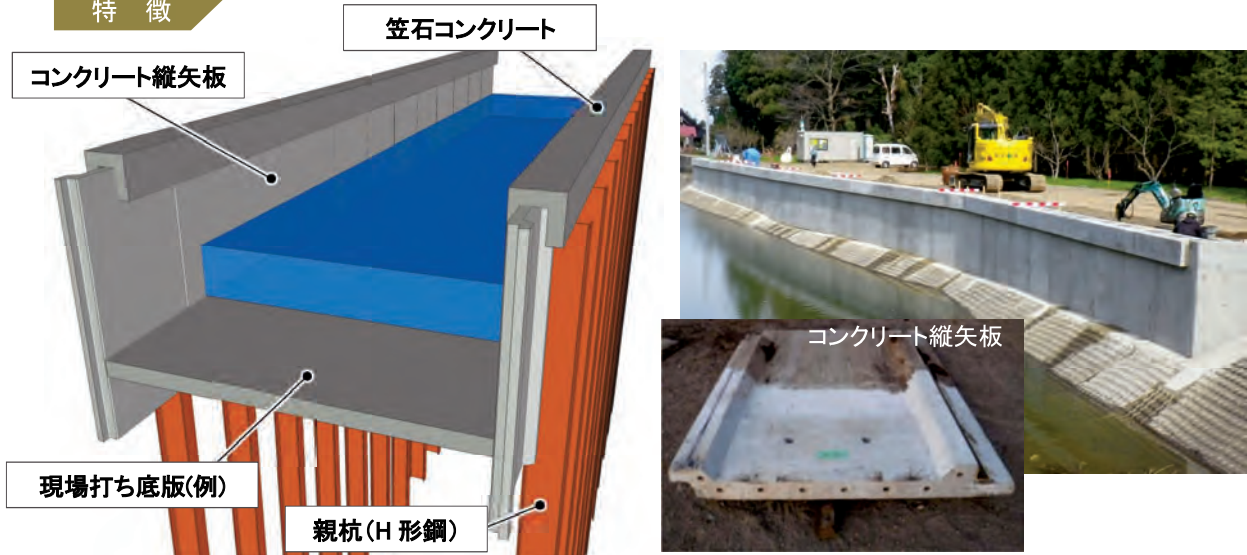


— 親杭+コンクリート縦矢板 —

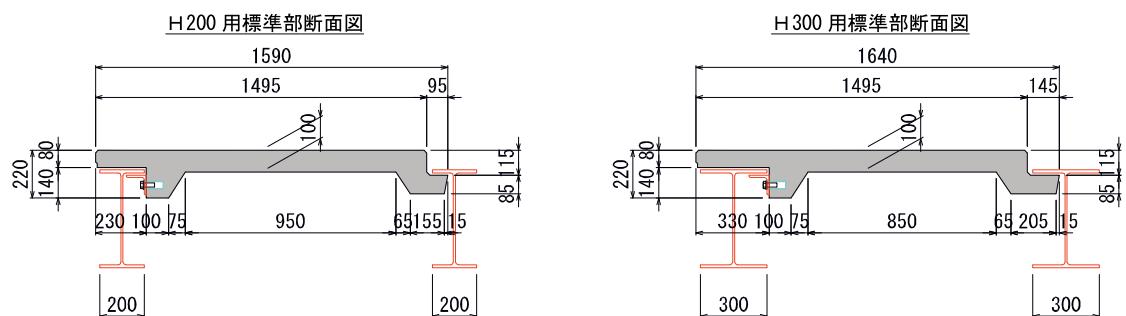
特徴



- 構造** ▶ H形鋼の親杭とコンクリート縦矢板の複合構造により土留壁を構築する工法です。道路擁壁で数多くの実績を有する柵板の応用で、経済的な構造を実現します
- ▶ 荷重(土圧)はコンクリート縦矢板/1.5m幅を介して親杭に伝達されます。
- ▶ コンクリート縦矢板を地盤に貫入させることで、ボイリングやヒービングを防止します。
- ▶ コンクリート縦矢板は親杭(H形鋼)を被覆し、耐久性、景観性・美観性を向上します。
- 用途** ▶ 水路をはじめ、道路擁壁、調整池等の土留め構造に適用可能です。

- ▶ 設計基準 ・土地改良事業標準設計基準書「水路工」(農林水産省農村振興局)
・災害復旧工事の設計要領(公益社団法人全国防災協会) 他

寸法等

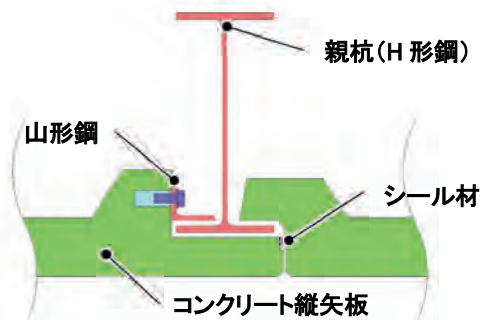
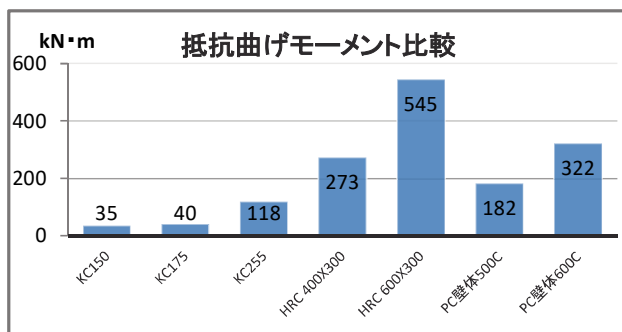


呼び名	抵抗曲げモーメント(kN・m)	図心からの距離(cm)		断面係数(cm ³)		断面二次モーメント I(cm ⁴)	参考質量(kg/m)
		Y _U	Y _L	Z _U	Z _L		
H200用	11.4	6.9	15.1	6514	2961	44800	450
H300用		7.0	15.0	6773	3172		

※ 上記数値はコンクリート縦矢板水平方向の抵抗モーメントであり、矢板の設計に用いる抵抗モーメントは親杭(H形鋼)の規格により決まる。

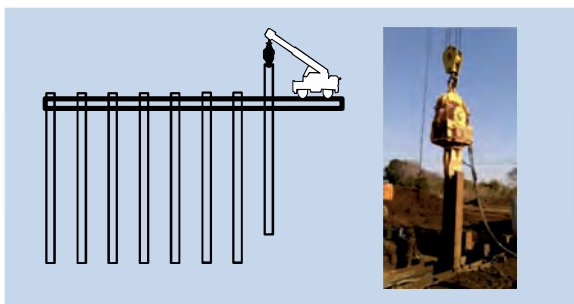
構造等

- 【高い耐力】 親杭は荷重に応じて、最適なサイズを幅広い範囲で選択でき、高い耐力を設定できます。
- 【高い耐久性】 縦矢板継手部にはシール材が設置され、親杭の耐久性が向上するほか、土砂の吸出しを防止します。

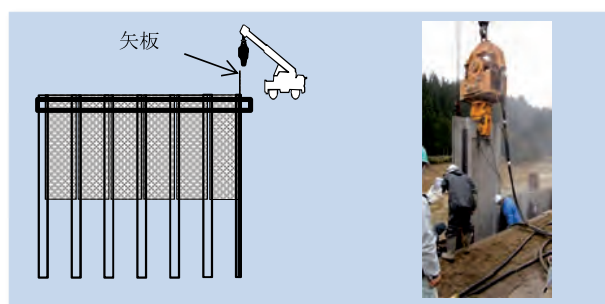


施工

1 親杭の打設 (導枠設置後)



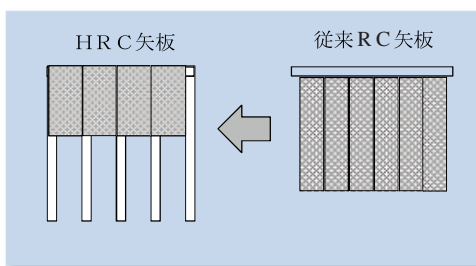
2 コンクリート縦矢板の打設 (親杭との交互打設)



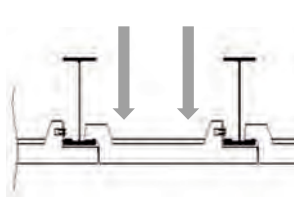
経済性

- 【根入れの短縮】 曲げ荷重を親杭が受け持つため、縦矢板の根入れを短縮でき、経済性が向上します。
- 【矢板の薄肉化】 縦矢板は親杭間で支えられた梁構造となるため、薄肉化できます。
なお、HRC 矢板は製品幅 1.5m に拡大しています (従来の RC 矢板は 1.0m)。
- 【水理特性】 粗度係数が小さく、更新工事の場合、既設の矢板を撤去せずに水量を確保できます。

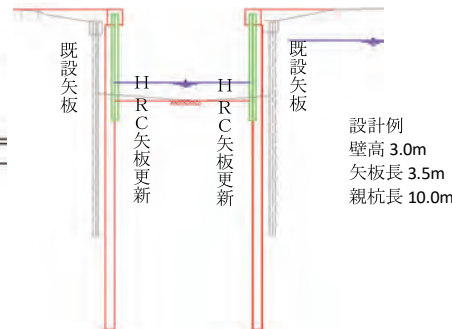
縦矢板の根入れ短縮と広幅化



薄肉の縦矢板



既設護岸の内側に更新



製品お問合せ

GEOSTR ジオスター株式会社

<https://www.geostr.co.jp/>

営業本部

- 営業第1部 TEL. 03(5844)1208
- 北海道支店 TEL. 011(350)5150
- 大阪支店 TEL. 06(6210)2920
- 北陸営業所 TEL. 076(203)8099
- 仙台支店 TEL. 022(221)8631
- 九州支店 TEL. 092(441)0014
- 名古屋支店 TEL. 052(269)3680
- 沖縄営業所 TEL. 098(877)1230

＜ご注意とお願い＞ 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社の商標または登録商標、或いは、当社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。
※「HRC矢板」は、ジオスター(株)の登録商標です。